

# 多世代に広がる SDGs

サステイナブル デvelopment ゴールズ  
Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) を略した「SDGs」。貧困や不平等・格差、気候変動などさまざまな問題を解決し、よりよい未来をつくることを目指しています。

市でも多様な機関と連携・協働し、舞鶴版SDGsを進めています。SDGsの取り組みは小学生から大人まで多世代に広がっています(2ページに関連記事)。



## ◆おさかな観察会

昨年10月17日、小学4～6年生を対象に京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所教授の益田玲爾さんを迎え、おさかな観察会を開催。赤れんが3号棟(コワーキングスペース)で舞鶴の海の説明を受けた後、水産実験所でさかなを観察しました。豊かな自然や生物の多様性を保全し、次世代へ引き継いでいくために、まず、子ども達に舞鶴の海を深く知ってもらうことを目的にしています。



## ◆大浦小・朝来小の未来学ミーティング

大浦小と朝来小が合同で、舞鶴市の未来を話し合う授業を展開。総合学習で身につけた課題を発見する、情報を活用する、プレゼンテーションする力を発揮し、身近な問題を見つけてSDGsの観点からまちの未来を考えました。過疎高齢化、海岸に漂着するごみ、きれいな川を守るためになどそれぞれの観点から発表し、両小学校の児童で意見交換をしました。



## ◆中筋小のかまぼこキャラクターの考案とシイラのレシピづくり

「舞鶴がさらによくなるためにはどうすればいいか」を児童が考え「舞鶴の名産・舞鶴かまぼこの新たなキャラクターを考える取り組み」「舞鶴の美味しい魚を生かした料理を考える取り組み」を行いました。かまぼこのキャラクターは舞鶴かまぼこ協同組合の辻義雄さんから授業を受けて考案し、発表会をしました。料理は舞鶴漁港に多く水揚げされるものの、低利用魚となっているシイラのレシピを考え、調理実習を行いました。



## ◆中高年男子、まだ間に合う！今からでも厨房に入るべし

今まで料理をしたことがない人や料理に苦手意識がある人などを対象に「料理の楽しさを知って、ステキなおじさんになる」を目標に、昨年11月～今年1月に全3回の料理教室を実施。ゆう薬局の管理栄養士を講師に、まなびあむで料理の基礎からおいしく作るコツなどを教わりました。



発行・舞鶴市 (〒625-8555 京都府舞鶴市字北坂1044、☎62・2300)  
※…舞鶴市内の電話番号では市外局番(0773)を省略しています。  
編集・広報広聴課 (☎66・1041、FAX 62・7951) 基本デザイン、一部編集、印刷・有限会社多田印刷所



舞鶴市公式LINEアカウント  
防犯情報、市政・イベント情報など  
登録は、こちらのコードから

